

6	1	第19回神奈川県高等学校総合文化祭放送部門大会 実 施 要 領
---	---	---

1. 目的

生徒相互の主体性を尊び、創造性と協調性を向上させ、正しいマスコミュニケーションの理解をはかる。また、高校生の豊かな創造性を育み、芸術的感性の向上をめざす。あわせて校内放送活動の活性化をはかる。

2. 主催・主管

主催：神奈川県高等学校文化連盟
 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会
 神奈川県教育委員会
 主管：神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部
 （神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 校内放送委員会）
 後援：t v k テレビ・FM横浜・朝日新聞社横浜総局・神奈川新聞社

3. 参加資格

【 神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門 】

県高等学校文化連盟加盟校における1・2年生とする。（未加盟校生徒は要相談）

【 全国高等学校総合文化祭（徳島大会） 放送部門 】

県大会で優秀な成績を修めた生徒・作品を、順位順に上位から推薦する。

ただし、以下に項目に該当する場合は、全国大会に推薦されない。

* 各部門で全総文祭に出場した経験のある生徒は今年度の同部門には推薦されない

【 関東地区高校放送コンクール大会 】

県大会で全国大会に推薦された生徒・作品について優秀な生徒・作品を、順位順に上位から推薦する。

ただし、以下に項目に該当する場合は、全国大会に推薦されない。

* 各部門で関東大会に出場した経験のある生徒は今年度の同部門には推薦されない

4. 日時

2003年11月23日(火)	9:00～16:00
・総合受付	9:00～ 9:40
・作品提出（総合受付の隣）	9:00～ 9:40
・審査	13:30～16:00
・閉会式	16:00～17:00

5. 会場：川崎市立商業高等学校（上履き必要）

6. 部門・参加本数・参加費用

	アナ	朗読	オーディオピクチャ	ビデオメッセージ
参加本数	2本	2本	2本	2本
参加費用	無料			

7. 表彰

アナウンス・朗読：各 1 ~ 6 位

1 位に教育長賞、2 ~ 3 位に高文連会長賞、
4 ~ 6 位に高視研会長賞 2 ~ 6 位高文連会長賞に変更か

オーディオビジュアル：上位 4 作品

1 位に教育長賞、2 ~ 4 位に高視研会長賞 2 位高文連会長賞に変更か

ビデオメッセージ：上位 4 作品

1 位に教育長賞、2 位に高文連会長賞、
3 ~ 4 位に高視研会長賞 3 ~ 4 位に高文連会長賞に変更か？

注 1)

2005 年度全国高等学校総合文化祭（徳島）には次の本数を推薦する。

アナウンス・朗読 各 3 人

オーディオビジュアル 1 作品

ビデオメッセージ 2 作品

注 2)

2004 年度関東地区高校放送コンクールには次の本数を推薦する。

アナウンス・朗読 各 3 人

オーディオビジュアル 1 作品

ビデオメッセージ 2 作品

注 3)

第 19 回神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門最優秀作品（教育長賞）の表彰は、
平成 15 年度第 19 回神奈川県総合文化祭 閉会式（2005 年 1 月 22 日）に行なわれる。

注 4)

審査対象作品が少なかった場合は、表彰本数を減らすことがある。

8. 審査・審査基準

各部門、教員審査員と t v k テレビ、FM 横浜からの特別審査員（予定）による。

別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。

規定違反の場合、原則として減点・失格の対象となる。

詳細は、審査員およびコンテスト運営委員長の協議による。

9. 参加申込

期日：2004 年 10 月 23 日（土）

会場：川崎市立 商業 高校

時間：参加申込 14：00 ~ 14：30

提出物： 申込用紙・領収書（アンパン・総文祭共通、要校長印・顧問印）

出場カード

注 1) 郵送などによる参加申込は一切受け付けない。

注 2) 提出物については、くれぐれも間違いや忘れ物のないよう、慎重に準備し、
顧問の確認を受けること。

10. 大会当日の受付

総合受付 9：00 ~ 9：40

受付でプログラムを受け取り、審査会場・番号を確認して、封筒・スクリプト（2 部）・MD・
CD-ROM・DV に記入する。

封筒提出 9：00 ~ 9：40

記入を終えた作品封筒を、総合受付となりの役員校係に提出する。

11. 神奈川県高等学校総合文化祭放送部門諸規定

次年度の全国総合文化祭放送部門参加要領に準ずる。

7 全国総合文化祭放送部門参加要項（2005年青森大会） 参照

A アナウンス部門

内容：郷土の話題を全国の仲間に伝える内容の未発表の自作原稿とします。校内の話題は不可とします。

JPEG形式の静止画像（5枚以内）を投影するものとします。BGMは使用できません。

時間：1分30秒以内。学校名、氏名を含む。

審査方法：NHK大会と同様な実演発表審査とする。

計時：アンデパンダン大会・番組制作部門諸規定に準ずる。

ラベル：アンデパンダン大会・番組制作部門諸規定に準ずる。

規格：JPEG形式デジタル静止画像

ア) プロジェクター（1台）よりパソコンからデジタル静止画像を投影します。

イ) 画像データはCD-ROMにより提出してください。

ウ) 画像投影は発表者以外の自校生徒が操作してください。

エ) ファイル名は神奈北高校なら「kanakita01」「kanakita02」...と投影順に附ってください。

原稿は番組用の原稿用紙を使用してください（Nコン赤本）

B 朗読部門

内容：それぞれの郷土にゆかりのある作家及び作品の中から原文のままを一部選んで原稿とします。MDによる効果音やBGMを併用できます。デジタル静止画像は使用できない。

時間：2分以内。校名、氏名を含む。

審査方法：NHK大会と同様な実演発表審査とする。

使用MD：一本のMDに1作品分を再生順に録音したものとします。その他アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。

再生：SE, BGMは発表者以外の自校生徒が操作してください。

計時：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。

ラベル：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。

原稿は番組用の原稿用紙を使用してください（Nコン赤本）

C オーディオピクチャー（AP）部門

内容：郷土に関する話題を全国の仲間に伝える内容の自作原稿をMDに録音する。ステレオ音声とJPEG形式の静止画像（50枚50MB以内）を併用した未発表の作品とする。

ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問わない

時間：5分以内。

使用MD：一本のMDに1作品分を再生順に録音したものとします。その他アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。

録音・再生：ステレオ再生。

計時：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。

ラベル：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。

再生：画像投影は自校生徒が操作すること

原稿：Nコン番組用原稿用紙を使用

規格：JPEG形式によるデジタル静止画像

ア) プロジェクタは1台。

イ) 50画像以内、総容量は50MB以内とします。

ウ) 画像データはCD-ROMにより提出してください。

エ) ファイル名は神奈北高校なら「kanakita01」「kanakita02」...と投影順に附ってください

D ビデオメッセージ（V M）部門

内容：郷土に関する話題を全国の仲間に伝える内容のビデオ作品。
自校オリジナルのビデオ作品とする。

時間：5分以内。前後に20秒のテストパターンを入れる。

形式はNHK杯全国高校放送コンテスト様式規定7に準じる。

動きのあるテストパターン、フェーダーを使用したテストパターンは禁止。

計時：番組本体についてのみ行なう。

規格：miniDVとする。

ラベル：アンデパンダン大会番組制作部門規定に準ずる。

その他：上記以外の規定については、NHK杯全国高校放送コンテスト
神奈川県大会の実施要領に準じる。

共通事項

18 著作権処理についてにしたがって適切に著作権の処理を行ってください。

1.2. スクリプトに関する規定

Nコン赤本 掲載の番組用原稿用紙を使用する。（インターネットからのダウンロードのこと）
作品1本（1人）について2部提出する。

スクリプトとテープ、MD、CD-ROM を角3の封筒に入れ、封筒の表には
スクリプトの表紙と同様の記載をする。

スクリプト表紙（及び封筒表書）の見本

<アナウンス、朗読>

作品名	作者名	氏名	学校名	朗読部門
こころ	夏目漱石	高橋圭三	県立高等学校	[A] 会場 [13] 番

< A P ・ V M >

制作代表者	再生時間	タイトル	学校名	A P 部門
神奈川県次郎	4分40秒	おお青春	県立神奈川県立高等学校	[B] 会場 [22] 番

注意1 アナウンス部門は、作者名・作品名は不要。

注意2 []のなかは、大会当日、プログラムを見て記入する。

6 - 5

15. その他

上記以外の規定については、第51回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会の実施要領に準じる。

16. 諸注意

閉会式終了後、スクリプト・MD・テープ・CD-R等を返却するので必ず受け取ること。
大会当日の運営に関することは、すべて顧問を通して本部に申し出ること。
ゴミは会場校に残さず各自で自宅に持ち帰ること。
会場校は上履きが必要なので必ず持参すること。